

第 27 回理事会 2023 年 4 月 12 日議決

2022 年度

第 47 期 事業報告書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会

公益目的事業 1 高等学校における文芸教育振興のための助成

様々な分野で活躍する方々を全国の高等学校に講師として派遣し、成長過程にある高校生に読書や学ぶ喜びを伝え、未来の指針を考える契機となることを企図する。

第 57 回「高校生のための文化講演会」

決算 4,942 万円

(P2-3. 第 57 回 高校生のための文化講演会(事前収録講演)開催実施一覧)

新型コロナウイルス感染症が 3 年目となった 2022 年度は、34 名の講師による講演を事前収録し、DVD として学校に送付した。各高校に向けての挨拶や講師紹介、事前にもらっていた講師への質問の回答もあわせて収録して高校別にパッケージ化、その DVD を授業の一環として聴講してもらった。校内クラスター発生のため 9 月の視聴予定日に実施できなかった高校もあったが、12 月初旬までにはすべての高校の視聴が終了した。実施した高校には「集英社文庫 100 冊セット」『国語辞典』を寄贈、冊子『読書への招待 2022』は全校生徒分を送付した。講演を聴講した生徒からは「出会いを大切にしようと感じた」「勉強するより学ぶことを心がけていきたい」「読書は好奇心よりも探求心で読むと深く知ることができる」等、多くの感想が寄せられた。聴講生徒数は 32,903 名、57 回までの累計聴講者数は 3,608,030 名にのぼる。

●実施概要

企画名	第 57 回 高校生のための文化講演会(事前収録講演)
主催	公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会、各新聞社 37 社
後援	文部科学省、都道府県教育委員会、集英社 ほか
期間	前期:2022 年 6 月 1 日(水)～7 月 15 日(金) 後期:2022 年 9 月 1 日(木)～12 月 2 日(金)
講師数 講演数	作家、大学教授、ジャーナリストなど様々な分野で活躍する著名な方々(島田雅彦氏、今村翔吾氏、村山由佳氏、姜尚中氏、斎藤幸平氏など)の講演を前期 20 名、後期 14 名、計 34 名・76 校で実施した。
図書寄贈	集英社文庫 100 冊セット、国語辞典
配布物	小冊子『読書への招待 2022』、講師チラシ

第 57 回(2022 年度) 高校生のための文化講演会〈事前収録講演〉開催実施一覧

※クラスター発生により一校は視聴延期となったが、12月2日に終了。また、学校都合により1校は辞退。

開催日	AM/ PM	実施新聞社	都道府県	実施高校	講師名	演題
6/1(水)□	PM	中日新聞社	愛知	愛知啓成高等学校	畠山理仁	若者よ、選挙に行こう
6/1(水)□	PM	中日新聞社	愛知	五条高等学校	畠山理仁	若者よ、選挙に行こう
6/1(水)□	PM	中日新聞社	三重	津田学園高等学校	畠山理仁	若者よ、選挙に行こう
6/6(月)□	AM	高知新聞社	高知	明德義塾高等学校	鎌田實	生きるって素晴らしい
6/6(月)□	AM	西日本新聞社	福岡	大和青藍高等学校	鴻巣友季子	翻訳入門 正解のない言葉の冒険
6/6(月)□	PM	熊本日日新聞社	熊本	東海大学付属熊本星翔高等学校	内藤正典	これからの世界を生き抜くための知恵 コロナ、戦争、激動の世界を正確に知ること
6/6(月)□	PM	南日本新聞社	鹿児島	鹿児島純心女子高等学校	内藤正典	これからの世界を生き抜くための知恵 コロナ、戦争、激動の世界を正確に知ること
6/7(火)□	AM	山陰中央新報社	鳥取・島根	飯南高等学校	森田真生	僕たちはどう生きるか
6/8(水)□	AM	山陰中央新報社	鳥取・島根	矢上高等学校	森田真生	僕たちはどう生きるか
6/9(木)□	PM	山形新聞社	山形	酒田光陵高等学校	三宮麻由子	響き合う毎日
6/9(木)	PM	南日本新聞社	鹿児島	鹿児島水産高等学校	内藤正典	これからの世界を生き抜くための知恵 コロナ、戦争、激動の世界を正確に知ること
6/10(金)□	AM	山形新聞社	山形	酒田南高等学校	三宮麻由子	響き合う毎日
6/10(金)□	AM	徳島新聞社	徳島	徳島科学技術高等学校	加藤直人	メタバースの未来と日本
6/10(金)□	PM	徳島新聞社	徳島	城北高等学校	加藤直人	メタバースの未来と日本
6/10(金)	PM	高知新聞社	高知	高知小津高等学校	鎌田實	生きるって素晴らしい
6/10(金)	PM	西日本新聞社	福岡	稲築志耕館高等学校	鴻巣友季子	翻訳入門 正解のない言葉の冒険
6/10(金)	PM	熊本日日新聞社	熊本	開新高等学校	内藤正典	これからの世界を生き抜くための知恵 コロナ、戦争、激動の世界を正確に知ること
6/14(火)□	PM	北日本新聞社	富山	富山第一高等学校	松井今朝子	見ること 聞くこと 読むこと
6/15(水)□	PM	北日本新聞社	富山	富山高等学校	松井今朝子	見ること 聞くこと 読むこと
6/15(水)	PM				荒木 紀貴	事件取材の裏側
7/11(月)・12(火)	AM	中国新聞社	広島・山口	広島工業大学高等学校	(中国新聞「決別 金権政治」 取材班)	河井夫妻大規模買収事件を追いかけて
7/13(水)・14(木)	PM				宇山佳佑 (編集信田氏との対談形式)	
6/16(木)□	AM	大分合同新聞社	大分	日出総合高等学校	宇山佳佑 (編集信田氏との対談形式)	青春時代のあとさき
6/16(木)	PM	琉球新報社	沖縄	昭和薬科大学附属高等学校	弓狩匡純	冒険するコミュニケーション ～国際人になるために～
6/16(木)□	PM	愛媛新聞社	愛媛	川の江高等学校	河野啓	ノンフィクションは、 やっかいだからやめられない
6/16(木)	PM	大分合同新聞社	大分	杵築高等学校	宇山佳佑 (編集信田氏との対談形式)	青春時代のあとさき
6/17(金)□	AM	山梨日日新聞社	山梨	青洲高等学校	斎藤幸平	気候変動について考えよう
6/17(金)□	PM	山梨日日新聞社	山梨	笛吹高等学校	斎藤幸平	気候変動について考えよう
6/17(金)	PM	愛媛新聞社	愛媛	三島高等学校	河野啓	ノンフィクションは、 やっかいだからやめられない
6/24(金)	AM	信濃毎日新聞社	長野	岡谷東高等学校	折山淑美 (編集小澤氏からの質疑応答形式)	羽生結弦の素顔と五輪裏話
6/24(金)	AM	信濃毎日新聞社	長野	東海大学付属諏訪高等学校	折山淑美 (編集小澤氏からの質疑応答形式)	羽生結弦の素顔と五輪裏話
6/24(金)□	AM	長崎新聞社	長崎	長崎玉成高等学校	中村計	ノンフィクションとは
6/24(金)	PM	長崎新聞社	長崎	上五島高等学校	中村計	ノンフィクションとは
6/27(月)	PM	琉球新報社	沖縄	与勝高等学校	弓狩匡純	冒険するコミュニケーション ～国際人になるために～
6/27(月)□	PM	福井新聞社	福井	武生商工高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
6/29(水)□	PM	福井新聞社	福井	敦賀工業高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
6/30(木)□	PM	福島民友新聞社	福島	桜の聖母学院高等学校	澤田瞳子	小説を読む、小説を書く
7/1(金)□	PM	山陽新聞社	岡山	笠岡高等学校	武田砂鉄 (編集岸氏との対談形式)	私たちの身近にある「マチゾモ」
7/4(月)□	AM	宮崎日日新聞社	宮崎	飯野高等学校	久坂部羊	ブラック・ジャックは遠かった
7/4(月)□	PM	宮崎日日新聞社	宮崎	日向高等学校	久坂部羊	ブラック・ジャックは遠かった
7/5(火)□	PM	北國新聞社	石川	野々市明倫高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること

7/6(水)	AM	山陽新聞社	岡山	岡山南高等学校	武田砂鉄 (編集岸氏との対談形式)	私たちの身近にある「マチズモ」
7/6(水)	PM	佐賀新聞社	佐賀	厳木高等学校	中村計	ノンフィクションとは
7/6(水)□	PM	北国新聞社	石川	金沢西高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
7/11(月)	AM	福島民友新聞社	福島	日本大学東北高等学校	澤田瞳子	小説を読む、小説を書く
7/12(火)	PM	佐賀新聞社	佐賀	多久高等学校	中村計	ノンフィクションとは
7/15(金)□	AM	産経新聞社	茨城・栃木・ 埼玉・千葉・ 東京	小松川高等学校	姜尚中	君たちは生きる〈意味〉をどう考えるか
7/15(金)□	AM	産経新聞社	茨城・栃木・ 埼玉・千葉・ 東京	文京高等学校	姜尚中	君たちは生きる〈意味〉をどう考えるか
9/1(木)	PM	東奥日報社	青森	東奥学園高等学校	岩岡ヒサエ	漫画家という仕事
9/2(金)□	AM	東奥日報社	青森	青森山田高等学校	岩岡ヒサエ	漫画家という仕事
9/2(金)	AM	秋田魁新報社	秋田	聖霊女子短期大学付属 高等学校	小林紀晴	写真を撮るって何？
9/2(金)□	PM	秋田魁新報社	秋田	秋田公立美術大学附属 高等学院	小林紀晴	写真を撮るって何？
9/5(月)□	PM	岩手日報社	岩手	宮古高等学校	中井はるの	世界の中で、社会の中で、 「ともに生きる」ための読書
9/5(月)□	PM	上毛新聞社	群馬	高崎商科大学附属 高等学校	島田雅彦	文化で勝つ
9/5(月)□	PM	神奈川新聞社	神奈川	相模女子大学高等部	Emi	わたらしさを知り、毎日をもっと面白くなる！ マイノートのつくりかた
9/5(月)□	PM	神奈川新聞社	神奈川	関東学院六浦高等学校	Emi	わたらしさを知り、毎日をもっと面白くなる！ マイノートのつくりかた
9/6(火)□	AM	岐阜新聞社	岐阜	多治見北高等学校	黒川祥子	大人になるってつらいこと？
9/6(火)	AM	神戸新聞社	兵庫	浜坂高等学校	丈月城	文筆業のお仕事
9/6(火)□	PM	岐阜新聞社	岐阜	多治見高等学校	黒川祥子	大人になるってつらいこと？
9/6(火)	PM	岩手日報社	岩手	釜石高等学校	中井はるの	世界の中で、社会の中で、 「ともに生きる」ための読書
9/7(水)	PM	新潟日報社	新潟	敬和学園高等学校	島田雅彦	文化で勝つ
9/7(水)□	PM	新潟日報社	新潟	日本文理高等学校	島田雅彦	文化で勝つ
9/8(木)□	PM	福島民報社	福島	石川高等学校	島田明宏	人と馬の系譜——馬事文化や偉人など
9/9(金)	PM	神戸新聞社	兵庫	多可高等学校	丈月城	文筆業のお仕事
9/12(月)□	PM	北海道新聞社	北海道	北見工業高等学校	若松英輔	言葉とコトバ ——見えないおもいを受けとめる
9/12(月)□	PM	北海道新聞社	北海道	北見柏陽高等学校	若松英輔	言葉とコトバ ——見えないおもいを受けとめる
9/12(月)	PM	静岡新聞社	静岡	藤枝西高等学校	沼田晶弘	one and only 自分史上最高になる
9/12(月)	PM	静岡新聞社	静岡	城南静岡高等学校	沼田晶弘	one and only 自分史上最高になる
9/13(火)・14(水) 9/16(金)	PM 全日 全日	静岡新聞社	静岡	城南静岡高等学校	沼田晶弘	one and only 自分史上最高になる
9/14(水)	PM	京都新聞社	滋賀・京都	山城高等学校	木村元彦	橋を架ける者たち スポーツが人と人をつなぐ
9/14(水)	PM	京都新聞社	滋賀・京都	洛北高等学校	木村元彦	橋を架ける者たち スポーツが人と人をつなぐ
9/16(金)	AM	産経新聞社	大阪・奈良 和歌山	智辯学園和歌山 高等学校	今村翔吾	夢を叶えるということ
9/16(金)	AM	四国新聞社	香川	志度高等学校	関口尚	書く、書く、歩く
9/16(金)□	PM	福島民報社	福島	聖光学院高等学校	島田明宏	人と馬の系譜——馬事文化や偉人など
9/16(金)□	PM	河北新報社	宮城	仙台第三高等学校	高野秀行	旅は人生を変える
9/22(木)	PM	上毛新聞社	群馬	新島学園高等学校	島田雅彦	文化で勝つ
9/26(月)	PM	四国新聞社	香川	琴平高等学校	関口尚	書く、書く、歩く
10/20(木)	PM	産経新聞社	大阪・奈良 和歌山	高田高等学校	今村翔吾	夢を叶えるということ
10/25(火)						
1/28(月)・29(火) 12/1(木)・2(金)	PM	河北新報社	宮城	聖和学園高等学校	高野秀行	旅は人生を変える
11/17(木)□		中国新聞社	広島・山口	ノートルダム清心高等学校 (<u>学校都合により辞退</u>)	荒木 紀貴 (中国新聞「決別 金権政治」 材班)	取 事件取材の裏側 河井夫妻大規模買収事件を追いかけて
		37社38箇所		開催76校	講師：34名	

公益目的事業 2**高等学校及び高等学校生徒を対象とする創作活動に対する顕彰、助成**

「読書体験記」を全国の高校生を対象に募集、選考。特に心に残っている本、大切にしている本を取り上げ、どのような状況でどのように読んだか、どのような影響を受けたかを書いてもらい、読書が自らの人間形成にどれほど重要なものか気づいてもらうことを企図する。

第 42 回「全国高校生読書体験記コンクール」**決算 2,274 万円**

応募数は424校で、作品数は76,163編と、前年より7,300編の減。表彰式を3年ぶりに実施し、中央入賞者とその家族、引率教諭、該当新聞社、選考委員、理事、評議員など関係者を絞って招待し、79名の出席となった。発表冊子を配布し、中央入賞者には各賞の賞状、楯、記念品を、入賞の学校には、学校賞の賞状と盾を授与した。

●実施概要

企画名	第42回 全国高校生読書体験記コンクール
主催	公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会
後援	文部科学省、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、新聞社36社、集英社
告知	2022年6月応募要項一式を全国の高校5,647校に送付
募集期間	2022年6月1日～9月30日
応募締切	2022年9月30日(校内予選で1校5編以内)
応募数	76,163編(全国47都道府県424校)
都道府県別選考	2022年10月1日～31日
中央選考会	2022年12月6日
発表冊子出来	2023年1月23日
表彰式・懇親会	2023年1月30日 東京ドームホテル(出席者79名)
優良・入選者への授与	発表冊子、賞状、楯、記念品等を2023年1月31日送付、授与
上記以外の応募校	選外の学校へは発表冊子を2023年1月31日以降着で順次発送。参加全校へ集英社情報誌『青春と読書』を1年間寄贈
当財団HP発表	発表冊子のPDF版を2023年2月3日に掲載

●選考方法

都道府県別選考会で入選作 5 編(優良賞 1 編・入選 4 編)を決定し、各都道府県の優良賞 47 編の中から、中央選考会において、中央入賞 8 編[※]を選出する。

※ 文部科学大臣賞 1 名、全国高等学校長協会賞 2 名、一ツ橋文芸教育振興会賞 5 名

●中央選考委員(敬称略)

辻原 登(作家)、穂村 弘(歌人)、角田光代(作家)

宮崎活志(文部科学省初等中等教育局主任視学官)

林 達也(全国高等学校長協会 都立八王子拓真高校校長)

●賞

賞名・授与数	授与
中央入賞 8 名	
文部科学大臣賞 1 名	賞状・楯・記念品 [※]
全国高等学校長協会賞 2 名	賞状・楯・記念品 [※]
一ツ橋文芸教育振興会賞 5 名	賞状・楯・記念品 [※]
優良賞 39 名	賞状・記念品(ボールペン)
入選 185 名	賞状・記念品(ボールペン)

※ 図書カード(1万円)とボールペン

●学校賞

授与数	授与
中央入賞者在学校 8 校	楯・「集英社文庫 100 冊セット」
優良賞入賞者在学校 39 校	「集英社文庫 50 冊セット」
入選者在学校 159 校 [※]	『国語辞典』

※ 一校に複数の入選がある場合でも国語辞典は1つ。

●第42回 2022年度

「全国高校生読書体験記コンクール」中央入賞者一覧(敬称略)

文部科学大臣賞

三重県 鈴鹿工業高等専門学校 三年 ^{つねかわりんたろう} 恒川凜太郎

「初めて見た見慣れた世界」

(体験書籍『凶鑑を見ても名前がわからないのはなぜか? 生きものの“同定”でつまづく理由を考えてみる』須黒達巳 ベレ出版)

全国高等学校長協会賞

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 二年 ^{のせなつき} 能勢奈月

「一瞬と、向き合う」

(体験書籍『日日是好日—「お茶」が教えてくれた15のしあわせ—』森下典子 新潮社)

鹿児島県立鶴丸高等学校 一年 ^{とびながはるただ} 飛永大維

「僕の個性」

(体験書籍『きよしこ』重松 清 新潮社)

一ツ橋文芸教育振興会賞

東京都 恵泉女学園高等学校 一年 ^{かとう さあや} 加藤早絢

「白い太陽の道を歩む」

(体験書籍『逆ソクラテス』伊坂幸太郎 集英社)

石川県立金沢泉丘高等学校 三年 ^{すずき ゆうな} 鈴木侑羽菜

「俳句甲子園漫遊記」

(体験書籍『合本俳句歳時記 第三版』角川書店(編) KADOKAWA)

山梨県立都留高等学校 二年 ^{こみや} 小宮あかり

「決定! 夏休み明けの目標」

(体験書籍『31cm ヘアドネーションの今を伝え、未来につなぐ』NPO法人JHD&C (ジャーダック) 監修 KuLaScip)

山梨県立都留高等学校 二年 ^{そがべ あい} 曾我部 愛

「私にとってのファンタジー」

(体験書籍『ぶらんこ乗り』いしい しんじ 新潮社)

沖縄県立知念高等学校 三年 ^{いれいあいる} 伊禮愛瑠

「精一杯に輝く命のために」

(体験書籍『小説 透明なゆりかご』橘もも 沖田×華 原作 安達奈緒子 脚本 講談社)

公益目的事業 3 青少年の健全な育成に関する調査研究、実践活動を行っている団体及び個人を後援、助成する。

① 「中華人民共和国 高校生日本語作文コンクール」への協賛 決算 200 万円

「一般財団法人日本児童教育振興財団」内「日本青少年研究所」の事業であり、中華人民共和国各地で日本語を学ぶ高校生たちが日本語で綴る作文を顕彰。中国国内 107 校より 572 の応募があり、3 月の審査会を経て、1 等賞 60 名、2 等賞 56 名が選ばれた。表彰式は 8 月 2 日にオンラインで実施し、96 名が参加。協賛金は協議の結果、2021 年度と同様、100 万円減額の 200 万円とした。選抜された高校生と交流するための日本訪問は、今年度は秋か冬に 10 名を選抜して実施の予定。

※別添資料：『2022 年 第 26 回「中国高校生日本語作文コンクール作品集」』（一般財団法人 日本児童教育振興財団内 日本青少年研究所）

② 全国高等学校国語教育研究連合会への助成 決算 165 万円

全国高等学校国語教育連合会（全国連）傘下の地方組織が開催する高等学校の国語科教師の研究会（国語部会）からの要請に応え、講師を派遣。情報過多の現代にあって、国語教育の重要性が再認識されるなか、作家・有識者の言葉や考え方を直接聞く機会が求められている。その一助となることを目的に助成を行っている。2022 年度は大分県国語部会に高樹のぶ子氏を派遣して講演料 20 万のうち 15 万円助成、また島根県国語部会に 10 万円の助成をした。

助成等概要(敬称略)

後援・助成先	助成内容	金額
大分県高等学校教育研究国語部会大会	講師派遣（高樹のぶ子氏）・講演料一部負担	150,000
島根国文学会研究大会（松江大会）	講演料負担（先方手配の中島国彦氏講演料）	100,000

③ 全国高等学校文化連盟への協賛・助成 決算 458 万円

公益社団法人全国高等学校文化連盟（全国高文連）による、中央・地方の高等学校文芸コンクールを中心に、図書専門部門、文芸専門部会などの読書推進活動への助成。北海道全道高等学校図書研究大会・十勝大会の講師に桜木紫乃氏を派遣。岩手県高等学校総合文化祭文芸部門・文化祭には、同県出身の作家での講演希望に沿い、阿部暁子氏を、埼玉県高校生文芸倶楽部には松井今朝子氏を講師として派遣した。沖縄県の高文連研究大会と高文連文化祭東京大会には講師派遣はせず、それぞれ 5 万の助成のみ実施。

毎年協賛している「第37回全国高等学校文芸コンクール」（主催：全国高等学校文化連盟、読売新聞社）には、東京外国語大学教授沼野恭子氏の講演派遣を実施し、「一ツ橋文芸教育振興会賞」に賞状と副賞（集英社文庫50冊セット）を、「文芸部誌部門」優秀賞に集英社文庫50冊セットを贈呈した。文学、学術、思想、芸術など様々なジャンルから良質な議論や情報を取り上げ紹介する新聞「週刊読書人」は継続して買い上げ、全国163校の高等学校国語担当主任教諭に送付した。

助成等概要(敬称略)

後援・助成先	助成内容	金額
全国高校生図書館研究大会 兼 全道高等学校図書研究大会（十勝大会）	講師派遣（桜木紫乃氏）・講演料一部負担	150,000
岩手県高等学校総合文化祭文芸部門・文芸祭	講師派遣（阿部暁子氏）・講演料一部負担	150,000
埼玉県高校生文芸倶楽部（埼玉県高校生文芸コンクール表彰式）	講師派遣（松井今朝子氏）・講演料一部負担	150,000
全国高等学校文化連盟研究大会（沖縄大会）	助成のみ	50,000
全国高等学校総合文化祭 文芸部門大会（東京大会）	講演料助成（先方手配・木内昇氏）	50,000
全国高等学校文芸コンクール 記念講演 ① 文芸誌部門の最優秀賞・文部科学大臣賞 ② 一ツ橋文芸教育振興会賞 各高校の文芸部	講師派遣（東京外国語大学教授 沼野恭子氏）講演料助成 集英社文庫50冊×2 贈呈	300,000 55,000
週刊読書人	全国高校の163校の国語担当主任教諭に送付	2,000,000

④ 「ノベル大賞」への協賛 決算 200 万円

新人作家の育成を目的とした「ノベル大賞」は、株式会社集英社と共催する公募文学賞で、若手作家の登龍門のひとつ。ここから氷室冴子氏、唯川恵氏、山本文緒氏、谷瑞恵氏、須賀しのぶ氏ら第一線で活躍する作家を輩出してきた。2022 年度の応募作品数は 1846 編、8 月に大賞、準大賞が決定。ノベル大賞募集・発表の告知に当財団との共催を明示している。

●選考結果

大賞	「早乙女さん、特務です！」森ノ薫（森 薫改め）(神奈川県)
カズレーザ一賞	「双蛇に嫁す」氏家仮名子（千葉県）
準大賞	該当なし
佳作	該当なし
応募作	1,846 通

●選考委員（五十音順）

桑原水菜(作家)、今野緒雪(作家)、三浦しをん(作家)、吉田玲子(作家)・カズレーザー
(ゲスト審査員)

●賞

大賞：正賞の記念品、副賞 300 万円

準大賞：正賞の記念品、副賞 100 万円

佳作：正賞の記念品、副賞 50 万円

カズレーザー賞：正賞の記念品 副賞 50 万円

⑤ 「聞き書き甲子園」への助成

決算 50 万円

「聞き書き甲子園」は、農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワークなどが主催。全国の高校生96人が、全国14エリアの所の森、海、川の名人96人と1対1で聞き書き取材をしてレポートを作成させる事業。今年度は、高校生が各名人と対面で取材・撮影をして感じたことを「聞き書き」としてまとめている。また、文部科学大臣賞等に選ばれた作品から代表で5名の高校生と名人が体験談を発表する「聞き書き甲子園フォーラム」が3月にオンライン配信で開催された。

⑥ 災害罹災校への支援・助成

決算 100 万円

2021年度は災害支援はなし。8月に一般財団法人あしなが育英会に、コロナ禍のなか学習や生活に困難が生じている生徒たちを支援するため、100万円を寄付した。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条 第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

2023年4月 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会